

森の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成17年7月1日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ E-mail: kyhakubu@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199

地震展

～宮崎大地震に備える～

2005 8/13(土)～11/6(日)

■観覧料 大人 500(400)円 高大生 300(200)円
小中生 200(100)円 ※ () 内は20名以上の団体

阪神・淡路大震災や、昨年から今年にかけて相次いだ新潟県中越地震・スマトラ島沖巨大地震・福岡県西方沖地震によって地震に対する関心が高まっています。

宮崎県においても、日向灘や霧島火山などの地震多発地帯を抱え、過去に多くの地震や津波の被害を繰り返し受けており、近い将来に発生が予想される日向灘地震やえびのー小林地震、東南海・南海地震に対する防災対策が急務とされています。

そこで、地震に対する最新の正確な知識とともに、防災意識を高めてもらうことを主な目的として本展示会を開催します。本展示会は、平成15年度に関東大震災から80年目の節目に国立科学博物館で開催された「THE 地震展」の内容を中心に、「地震を知る」「過去の地震に学ぶ」「地震に備える」の3部で構成し、本県関連の内容も多く配置しました。また、実物資料・模型資料・映像・実験装置を多く展示し、体験的に地震について学ぶことができます。

近い将来必ず起こるとされる「宮崎大地震」について、みんなで考え、みんなで備えるまたとない機会です。ぜひ、博物館に足を運んでください。(地質担当：松田)



(写真提供：読売新聞社)

①講演会「神話のふるさと宮崎を造った地震と火山」

日時：8月21日(日) 午後1:30～3:00

講演者：石黒 耀 氏

「死都日本」「震災列島」著者

②講演会「来る南海地震・日向灘地震への備えは大丈夫か？」

日時：10月30日(日) 午後1:30～3:00

講演者：原田 隆典 氏

(宮崎大学工学部教授)

③先生のための博物館講座「地質部門」

期日：8月18日(木)

内容：地震波の視覚化実験

④起震車体験

期日：8月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

10月29日(土)、30日(日)

(期日は変更になる場合があります)

協力：宮崎市消防局

⑤展示解説

期日：8月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

10月29日(土)、30日(日)

協力：宮崎大学

⑥耐震診断

期日：9月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)

協力：(社)日本建築構造技術者協会九州支部

※住宅の図面をお持ちください。

中国の遺宝

大唐王朝女性の美展

期間 平成17年 6月11日(土)
～ 7月31日(日)

※特別展観覧券が必要です。

この展覧会は7世紀から10世紀にかけて東アジアに大帝国を築いた唐の時代に華やかな文化を創りだした「女性たち」をテーマとしています。唐と言えば、則天武后や楊貴妃など「王朝を動かす女性たち」が活躍した時代ですが、唐の女性たちによって色鮮やかで優雅な服装や新しい髪型など様々なファッションが創造された時代でもあります。遣唐使などを通じて日本の天平文化などにも大きな影響も及ぼしています。

当時のファッションは今日の流行と同じくバラエティーに富んでいたようです。彼女たちの姿は千数百年間人目に触れることのなかった色鮮やかな壁画や、俑と呼ばれる土でつくられた人形などの国宝も含めて約170点の貴重な資料によって見ることができます。(考古担当：永友)



加彩女子立俑 唐時代 西安市文物保護考古所

記念講演会

入場無料

講師：大塚初重氏（考古学・明治大学名誉教授）
演題：「考古学から見た唐美人と
高松塚の女性たち」

日時：7月10日(日) 午後1時30分～3時
会場：県民文化ホール

学芸員による展示解説

※特別展観覧券が必要です

毎週土曜日（6/11, 7/30は除く）
午前11時～、午後2時～（30分程度）

宮崎の自然情報

岬馬

宮崎県の南端に位置する串間市都井岬は、「岬馬およびその繁殖地」「都井岬ソテツ自生地」の2つの国指定天然記念物を有している地域です。今回は、岬馬を紹介しましょう。

1697(元禄10)年、串間を治めていた高鍋藩が、軍馬や農耕馬を生産するために大規模な牧を設け、放牧した馬が岬馬の始まりです。現在、馬は人の手を離れ、再野生化した約110頭の馬社会を見ることができます。岬馬はずんぐりした体型で、肩までの高さが約130cm、体重約300kgです。よく日本在来馬は小さいと言われますが、間近で見る岬馬は堂々とした体格で、日本が島国であること、かつて鎖国だったことが影響して、背中に黒い線があるなどアジア馬の原始的な特徴を残しています。そして、岬内には1頭のオスと数頭のメスによる群れ（ハーレム）が複数あり、野生馬の社会を形成しています。

ところで、岬馬はニンジンを食べません。なぜだと思いますか？ 野生化した岬馬は人からエサを与えられず、野生植物しか食べていません。そのため、ニンジンを食べ物だとは思わないのです。今度、都井岬を訪れた時には、岬馬をじっくりと観察されてはいかがでしょうか。(動物担当：末吉)



岬馬(ねている馬は今春生まれた子馬)

講座紹介

●民俗部門●

平成16年12月4日（土）に民家園旧黒木家住宅で民具の触察体験を行いました。

とうみ、かるい、石臼^{いしうす}、糸車、さねくり、うなぎぼっぽやうけなどを並べ、それぞれの操作を体験してもらいました。名前は知っているが、実際に手にしたのは初めてという方がほとんどで、楽しそうに操作を行っていました。

講座の後半では、囲炉裏^{いろり}に火を入れ、宮崎県語り部の会の方達の昔話を聞きました。囲炉裏の中で燃える火を囲んで聞く昔話は、暖かさと懐かしさを思い起こさせ、大変好評でした。博物館では、今年も楽しい講座を実施いたしますのでぜひご参加ください。（民俗担当：崎田）



戦争と宮崎

常設展示紹介

●歴史部門●

今年は戦後60年の節目の年にあたります。当時は戦地におもむいた人たち、軍事動員された人たちがたくさんいました。宮崎県では、昭和12（1937）年に相川勝六知事により祖国振興隊が組織され、子どもから大人まで多くの人々が農作業や建設作業などに動員されました。

博物館では「戦争と宮崎」をテーマにコーナーを作っていますが、主に寄贈された資料や写真を活用して、二度と起こしてはならない戦争の怖さ、悲惨さ、そして人々の思いを伝える展示をしています。また、戦時下の暮らしを再現した家屋をつくっていますので、当時の生活を目で確かめることができます。（歴史担当：初木）



新収蔵資料紹介

●地質部門●

新富町岩脇一帯に産出する冷湧水性化石群集を2月に採集し、博物館正面玄関南側に屋外展示しています。主にツキガイモドキという大型の二枚貝からなるこの化石群集は、浅い海で、温泉を伴わない冷湧水孔付近に生息していたことが確認されており、このような例は今のところ九州ではここだけです。岩脇の化石群集は温室効果ガスであるメタンの湧出が関係していることから、過去の地球環境変動を研究する上で学術上非常に重要な化石群であり、今後の研究の進展が注目される化石です。（地質担当：山本）

～冷湧水性化石群集～



ツキガイモドキ

屋外展示された化石群集

博物館への問い合わせより

ハクモクレンとコブシの見分け方

モクレンは2種類あって、花が紫色のものをシモクレン、白色のものをハクモクレンといいます。このハクモクレンとコブシがよく似ていて、区別がむずかしいのです。両種ともよく栽培されますが、コブシは野生のものもあります。ハクモクレンは花びらが9枚あり、あまり開かないので、花が密で豪華に見えます。コブシは花びらが6枚で良く開くため、花はすきがが多く小さく見えます。花びらは、ハクモクレンは全て同じ形ですが、コブシは外側の3枚は内側の3枚より小さいです。もっと分かりやすい区別法があります。コブシは、開花時に、花の下に小さな1枚の葉っぱをつけます。これを確認するのが一番の早道です。県北には、タムシバというコブシによく似た花を咲かせる植物が山に生えています。（植物担当：斉藤）



コブシ

展示解説員の声

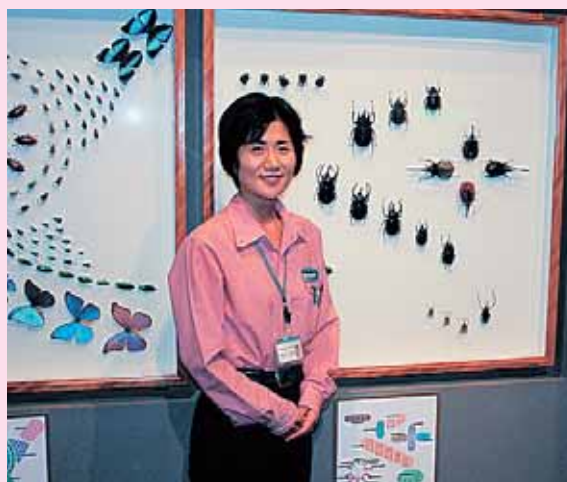
7月、いよいよ夏到来。神宮の森でも、様々な生きものが、夏の訪れにはしゃいでいるようです。

さて、常設展無料化がスタートして、3か月が経ちました。「博物館で何するの?」「なんだか難しそう」・・・とお思いの方、これを機にぜひ足をお運びください。展示室入口では、樹齢200年にもなる“タブの老木”と“ニホンジカの親子”が、皆様をお迎えしています。目の前には照葉樹林ジオラマが広がり、足下をのぞいてみるとそこにはー。

博物館が、皆様にとって「楽しい」「感じ得るものがある」場であるよう、スタッフ一同、日々努力を重ねています。

皆様のご来館を“最高の笑顔”でお待ちしています。

（展示解説員：浦辺）



お知らせ

* 夏休み特別企画「宮崎の川と海の水族館」開催

宮崎県水産試験場と宮崎海洋高校の協力で夏休みの8月20日（土）～8月28日（日）まで、博物館1階エントランスロビーに水槽約20個を設置し、生きた宮崎の海や川の生きものを展示します。夏休みは博物館に海や川の魚やエビ、カニなどの生きものに会いに来てください。観覧は無料です。

* 4月から常設展示が無料

より多くの方に、これまで以上に博物館を利用して頂けるように、常設展示が4月から無料になりました。

* 火曜日休館のお知らせ

博物館の火曜日休館が昨年度から実施されています。

* 夏休みの開館時間変更のお知らせ

8月1日（月）～8月31日（水）の開館時間が午前10時～午後6時に変わります。

